

土砂災害



土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの命や財産を奪う災害です。台風や集中豪雨、地震などが引き金となり発生します。

土砂災害はそのスピードとパワーがすさまじいため、災害が起きてから避難しようとしても間に合いません。また予測が困難なため、役場からの避難情報が間に合わない恐れがあります。

気象情報や前兆現象に注意し、早めの避難行動を取ったり、屋内の比較的安全な場所（崖と反対側の2階の部屋など）に移動したりするなどの安全確保行動をとりましょう。



土砂災害は次の3種類に分類されます

- **土石流**／土砂などが集中豪雨などの影響で、一気に下流へと押し流される現象。前兆現象としては、山鳴りがする、急に川の水が濁って流木が混ざり始める、腐った土のおいがするなどがある。
- **崖崩れ**／急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響で、突然崩れ落ちる現象。前兆現象としては、崖にひび割れができる、小石がパラパラと落ちてくる、崖から水が湧き出るなどがある。
- **地すべり**／比較的緩やかな斜面が地下水などの影響で、斜面下方へ移動する現象。前兆現象としては、地面のひび割れや陥没、亀裂や段差の発生、崖や斜面から水が噴き出すなどがある。

その他の災害

津波

津波は、主に地震発生に伴う海底の隆起・沈降などにより、その周辺の海水が上下に変動することによって起こる現象です。有田川町では、津波による被害は想定されていますが、大地震が発生した際には有田沿岸に最短30〜40分で最大11mの津波が到達すると想定されています。

津波の危険がある場所には、津波が襲来する危険があることを示す「津波注意」のほか、「津波避難場所」や

「津波避難ビル」を示す

津波標識が設置されています。地理に詳しくない土地でも、津波発生の恐れがあるときに

は、「津波避難場所」マークや「津波避難ビル」マークを目印に直ちに避難してください。



地震火災

地震は直接的な揺れによる被害だけでなく、多くの二次被害を引き起こします。その中でも地震火災は代表的で、過去の大地震では多くの命と財産が奪われました。

地震火災の原因の多くが「電気機器が関係する火災」だと言われています。大きく分けると、暖房器具の転倒に

よるものと通電火災と呼ばれるものとの2種類です。

いずれも地震発生直後には次の3点を行うことで、火災による被害を最小限にとどめることができます。

- 逃げ道を確保する。
- 発火したら初期消火を行う。
- ブレーカーとガス栓の確認。